



ゴードンR.マッキナリー会長

酒井法丈ガバナー

山本雅久会長

RIテーマ

地区方針

クラブ方針

CREATE HOPE in the WORLD  
世界に希望を生み出そう

培おうプライド、育もうブランド、  
そして未来へ!!

輝こう! 豊橋ゴールデンロータリークラブ  
～我がクラブの志と共に～

## 第35回(通算1649回)例会報告

令和6年4月12日(金)

## イニシエーションスピーチ①

## 出席報告

総会員数57名(計算会員数51名)欠席15名出席率70.59% 前々回修正出席率90.38%

## 歌/会場

我らの生業

会場:ロワジールホテル豊橋 1F「ホールA」12:30~

## 会長の時間

山本雅久会長



只今から35回の例会を執り行わさせていただきます。本日はイニシエーションスピーチを2人の方からお話しさせていただきます。宮川嘉隆さん、山下孝さんどうかよろしくお願いたします。

先日、蒲郡ロータリークラブの70周年記念式典に我がクラブの幹事の高井さんと一緒にクラブの代表として参加してまいりました。私共のちょうど倍の年月で古いロータリークラブでスポンサークラブが豊橋ロータリークラブのもと70年前に設立されました。記念式典の席上、東三河のロータリークラブの会長幹事さんおよび西三河のロータリークラブも参加されております。記念式典のお祝いは70周年ぐらいがちょうどいいと感じられました。

宮川嘉隆さんと山下さんそれぞれの会社の特徴をお話させていただきます。



## 誕生日祝い

お誕生日おめでとうございます!



岡本久永会員

飯野益通会員

加藤ゆり子会員

## ロータリーの友読みどころ

村松 光雑誌委員長

## ■横組4頁 RI会長メッセージ



私たち自身の変化と題し、ロータリーは戦争を望む人々に負けないくらい積極的に、平和に取り組む必要があります、そのためには共感こそ平和へ至る最も強力な手段だと言われています。世界に希望を生み出すために、勇敢に、そして謙虚に最初の一步を踏み出すには、「共感の心」を持たなくてはなりませんと締めくくられています。

## ■横組7頁 4月は「環境月間」です。

日本のロータリークラブも各地で動植物の保護・育成に尽力しています。5つの事例が紹介されています。国の天然記念物で絶滅危惧種に指定されているライチョウ。ライチョウが生きられる環境を整えることは、それ以外の動植物、ひいては人類が暮らす地球の自然を守ることにつながります。4年にわたる取組で順調に増えているとの事例が紹介されています。

■横組19頁 会員倍増に成功した三浦RCの事例が紹介されています。当該クラブは会員数29人でしたが、3年かけて50人にする計画を立案し会員増強に乗り出しました。今まで声をかけなかったり、無理だと決めつけたりしてただけであった。熱意と情熱をもって、入会候補者に見合った勧誘を徹底したとのこと。

## ■横組33頁 ROTARY AT WORK

ダバオの心臓病の子供に未来をと題し、グローバル補助金を利用した事例が紹介されています。心臓外科医2人を含む医師4人、看護師、検査技師などを含め、計8人の医療スタッフを招聘し、実際の手術を間近に見学、手術の模擬訓練ができる装置も使って研修を重ねたとのこと。

## ■縦組4頁 SPEECH

エクベリ聡子氏により、サステナビリティは大人の宿題



と題し、記載されております。SDGs の 17 の目標は知っている方が多いともいますが、その目標には 169 のターゲットがあることはご存じでしょうか。SDGs は次世代のため、大人が動かなければならない目標であり、大人の宿題だと言われています。同氏は 2030 年の世界を想像してみてください。今とは違う世界を。地球上のすべての人々がついに平和で公平な社会に生き、グローバルなパートナーシップが大切な役割を担っています。さあ思い描いてみましょう。私たちはこんな世界を手にすることが出来るのです。ロータリーの描く未来と同じだと思いませんか。とにかく有言実行だと言われています。

### 地区出向者報告



**地区 RYLA 副委員長 牧 岳大 会員**  
皆様、こんにちは。地区 RYLA 委員会に出向して 5 年目、今年は副委員長を仰せつかっております牧です。

豊橋ゴールデン RC から地区 RYLA 委員会への出向者は私で 7 人目となります。RYLA 委員会の副委員長の役目は 2011-12 年度に元会員の若林さんが RYLA 副委員長を担って以来ということになります。毎年、出向報告の機会を頂いていますし、本日は 8 分間ということですので、今年も副委員長の役目を頂いたことでのちょっとした意識の違いというところを報告したいと思います。

まず、地区 RYLA 委員会では、RYLA セミナーの開催が大きなイベントとなりますが、他にも、今年 RFF に名称変更された WFF にブースを出したり、全国 RYLA 研究会等の他地区合同レベルでの活動や、学友会クリスマス会や学友会セミナー after party や、学友会の研修合宿、そして地区内クラブでの卓話等の活動を、RYLA 学友会と一種になって実施しております。青少年と一緒に活動するという面で、青少年が身近にいる状態での活動となります。セクハラ・パワハラが昨今言われますが、それだけには留まらない様々なリスクが青少年と一緒に活動する上であります。何かがあったらガバナーや委員長の責任になりかねないという点があります。問題が起こらないようにしないといけないです。委員 16 名、学友会 15 名、その間での色々なリスクを誰がどう受け持つのか、すべての危機管理を委員長一人にというのは無理があります。そういう意味で、副委員長 3 名のうちの 1 人ということ、それなりの危機意識と行動を行うことが多くなりました。昨年までは自分が問題行動をしないようにしようとか、自分が受け持った学友は責任を持ってとかの意識はあったのですが、全部を包括的という中で全部のうちの一部をお手伝いするとなると、大変さが違ってくるところです。

話の流れの中で、今年やったことを簡単にと述べさせていただきましたが、その詳細は過去の会報をご参照頂ければと思います。HP がリニューアルされましたが、過去 5 年の会報も読めるようですので、各年度の「RYLA セミナー報告例会」や「地区出向者報告例会」を併せてお読み頂ければ幸いです。

今年のセミナー動画に関して、まだ未完成なのですが、完成したら各クラブさんへと配布する予定となっております。先日の地区協議会で用いた暫定版がありますので、今から流します。ご覧ください。

<動画 (4 分 30 秒) >

今年のセミナーの特徴としては、例年は基調講演を講師が卓話されるという形でしたが、今年に関しては、リーダーシップに関する演劇を高校の演劇部の方に上演して頂きました。「心で感じ取って頂く」ということに挑戦した形です。各分科会でのディスカッションに活かされることはもちろん、受講生各個人にとっても、得るものがあったのではと思うようなアンケートが集まりました。一つずつ理詰めめというのも最終的には大事なのですが、最初の入りを感性にというのも有りかなというところ。特にロータリーは心でやるものでもあると私も思っていますので。その点、昨年、今年の田中委員長の進め方は、私自身としてはやりやすかったです。来年はまた、来年の風が吹く。引き続き、次年度も副委員長として頑張っていきます。長期に亘って出向させて頂いていること感謝しております。いつか、得たものをクラブに還元する形で恩返しいたしますので、今しばらく出向のことよろしく願いいたします。ご清聴ありがとうございました。

### イニシエーションスピーチ



**宮川嘉隆 会員**

本日はイニシエーションスピーチをさせていただきます、よろしくお願いします。

入会よりはや 9 カ月。噂のイニシエーションスピーチをさせていただく機会を心待ちにしておりましたが、半年以上機会に恵まれず、ようやくこの場を頂けたことに、心より感謝申し上げます。

鬼頭プログラム委員長、ありがとうございます。本人の自己紹介より、会社の紹介に重点を置け…との指示がありましたので、仕事内容に重点を置いてお話をさせていただきます。

それでは自己紹介をさせていただきます。

自己紹介 : <sup>みやがわ</sup> <sup>よしたか</sup> 宮川 嘉隆

宮川工機株式会社 代表取締役  
昭和 51 年 2 月 9 日生  
平成 12 年 3 月：芝浦工業大学  
工学研究科修士課程電機工学専攻  
平成 12 年 3 月：宮川工機株式会社  
平成 22 年 11 月：代表取締役 責任

趣味：スポーツ (ゴルフ ジョギング)



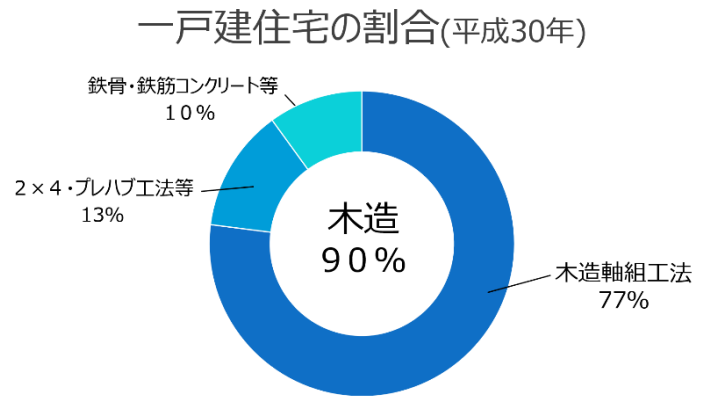
改めまして、宮川嘉隆です。  
現在、宮川工機株式会社 代表取締役をしております。  
昭和 51 年 2 月 9 日生  
平成 12 年 3 月：芝浦工業大学大学院  
工学研究科修士課程電機工学専攻修了

平成 12 年 3 月：宮川工機(株)入社  
 平成 22 年 11 月：代表取締役就任  
 趣味はスポーツ、特にゴルフとジョギングを好んでやっています。  
 さて、突然ですが、私を象徴する数字を発表したいと思います。  
 それは…「8」です。  
 ゴルフを始めて 8 年でハンディキャップ 8 になりました。  
 趣味が高じて、今では 8 つのゴルフコースのメンバーです。  
 3 人家族で妻と 9 歳になる男の子がいますが、妻の誕生日は 10 月 8 日、息子の誕生日は 8 月 19 日です。  
 結婚記念日も 3 月 8 日。  
 カーナンバーも「8」と「8」にまみれた生活を送っています。



続きまして、会社の紹介をさせていただきます。  
 設立 1942 年 10 月 8 日、  
 資本金 8,800 万円、  
 グループ企業 8 社…どこかで見た数字が続きますね。  
 事業内容 プレカット専用機械、木材加工機械の開発、製造、販売  
 主要取引先 ハウスメーカー、ハウビルダー、プレカット事業所、住友林業、積水ハウス、タマホーム、オープンハウス…その他、ほぼ木造住宅に関わるハウスメーカーは直接・間接に関わらずお付き合いがあります。  
 ニッチで、一般の人にはあまり知られていない業界ですが、実は機械販売において市場シェアは 65~70%と業界トップ、そして CAD の販売においても 40~45%とほぼ業界トップの会社であります。  
 では、実際にどんなことをやっている会社かということですが、事業内容をもう少し詳しく紹介させていただくと、次の 3 つの柱から成り立っています。  
 プレカットマシンの開発製造販売  
 プレカット CAD、ソフトの開発販売  
 プレカット工場向け生産管理システムの開発販売  
 なんか、プレカット、プレカットと連呼していますが、そもそもプレカットって何？という事になります。  
 プレカットとは…何か、どんなものか、ご存知の方はいらっしゃるでしょうか？  
 そもそもプレカットとは…ここにいろいろと書かせていただきましたが、簡単に言うと、「大工の匠の技を機械化し、工場で加工・生産すること」となります。  
 これは、皆様おなじみの木造住宅の骨組みと屋根がかかっ

たものです。  
 最近、宅地開発され、あっという間に数軒の住宅が建設される…そんなところを皆様よく見かけられるのではないのでしょうか？  
 そもそも多くの住宅は建築士がデザイン・設計し、大工さんが現場に必要な設計や構造計算を行い、加工・組み立てを行っていました。  
 当然、時間もある程度必要になり、地域になじんだ住宅にするためには、4 季を乗り越え、1 年以上かけて建設する、なんてこともよくありました。  
 現在ではほとんどの木造住宅において、現場での設計・加工が、工場での専用 CAD を利用した設計と機械加工に置き換わっています。  
 現場ではごみや廃材等の問題により、ほぼ、組み立てと現場施工だけとなっています。  
 加工方法が手加工から機械加工へ、加工場所も現場から工場へ、と移り変わったことにより、住宅は大工さんの作品から“工業製品”へ変化したともいえます。



これは現在の一戸建て住宅の割合のグラフです。  
 木造住宅が 90%、鉄骨や鉄筋コンクリート等で作られた住宅が 10%となっています。  
 木造住宅の内訳をもう少し詳しく見ていくと、木造軸組み工法（在来木軸工法）といわれる昔からなじみの立て方が 77%。ツーバイフォーやプレハブ工法等が 13%となっています。私共の会社が得意とする分野がこの木造軸組み工法向けの機械システム、プラントとなっています。  
 プレカット CAD/CAM システムが開発され、世間に広がったこと。  
 また、プレカット対象となる部材をひろげるための機械が次々と販売されたことでプレカット率（機械化）は上昇しつづけています。  
 現在ではプレカット率が 93 パーセントを超えています。  
 仕口・継ぎ手の加工は完全に人の手から機械へ移り変わったといえます。  
 ここで、建築現場の動画をご覧ください。これは住宅ではなく、非住宅といわれる老人ホームや店舗などの大規模な木造建築物を組み立てているところです。  
 最近では、このような大規模な建物に利用されることが多くなってきました。  
 すでにご紹介した機械設備だけでなく、CAD ソフトはもちろんのこと、IoT を活用した、プレカット工場の生産支



援システム。

会社内でのスムーズな情報共有やコミュニケーションの促進、効率的に業務を遂行するためのグループウェア機械の困りごとを早期解決に導く、メンテナンスサポートツールなど、総合メーカーならではの特色を生かしたソフトウェア開発も進めています。



日本機械学会「機械遺産」 機械遺産 第115号  
MECHANICAL ENGINEERING HERITAGE NO.115  
木材プレカットシステム MPS-1  
Timber pre-cut system MPS-1

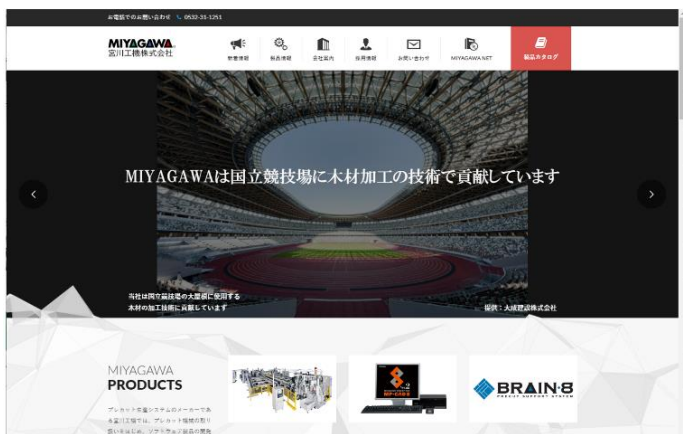


ここからは最近の実績というか、やっている事について紹介をさせていただきます。

こちらは、日本機械学会が制定する機械遺産に認定されたときのものです。

歴史に残る機械技術関連遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝えることを目的に、日本国内の機械技術面で歴史的意義のある「機械遺産」(Mechanical Engineering Heritage)を日本機械学会が毎年認定しています。

新幹線の0系やマツダのロータリーエンジン、札幌の時計台の時計装置などなどが登録されています。興味がある方はぜひ調べて頂くと思いとのおもいます。



これは弊社のホームページへ来ていただくと表示されるものを切り取ってきました。

この新国立競技場ですが、屋根の部分は47都道府県より集められた各地の木材により作られています。

通常の木造住宅で使われる材料で作られており、その加工は、ほぼ100%弊社の機械が使われています。

こちら、みなさんご存じの大阪万博のリングのイメージです。

現在、建設中のこちらにも、弊社の機械によって加工された木材が使われています。

東京オリンピックは住宅用に流通している木材、大阪万博

は大規模建築物用の木材と用いられている材料が大きく違うのも特徴です。

その分、大阪万博のリングに求められる加工はいろいろと大変で、我々も大いにご協力をさせて頂いております。

その他にも、地元の地域貢献や知名度向上を狙ってこのようなことをしています。

中でも力を入れているのがスポーツクラブやイベントへのスポンサーシップと技科大との連携です。

Bリーグ  
三遠ネオフェニックス  
スポンサー  
2016~



地元のプロスポーツチームを支援すると共に知名度向上を狙って

Bリーグ三遠ネオフェニックスへのスポンサー・パートナーシップを行っています。

…ここ3~4年はひどい状況でしたが、今年はなんと中地区優勝!すごく盛り上がっていますね。私も熱を入れて応援しています。

去年からは高校生や家庭への名前の浸透を期待して、地元の高校・特にバスケットボール部の生徒を毎試合ホームゲームにお招きして一緒に盛り上がっています。

こちらもご縁を頂いて、サッカースクールのスポンサーをさせて頂いております。

実際にイタリアのACミランよりスクール担当のイタリア人コーチが来日して子供たちにサッカーを教えています。年中さんから小学校6年生までを対象に通常は陸上競技場で開催しています。

穂の国ハーフマラソンへのスポンサーですね。

イベントへの支援とランニングを趣味とする人たちへのPRをさせて頂いております。

ちなみに、弊社にはマラソン部が存在し30名弱の部員がいます。

おそろいの目立つユニフォームをきて自ら宣伝マンとなり、完走めざして走っていますので、見かけたら声援を頂ければ幸いです。

我々は一昨年、創業80周年を迎えました。

木造住宅という生活に密着しつつも、知られざる企業の一つであります。

少しでも皆様に認知して頂けるように努め、

地域に根差し、地域への貢献・共存できる企業でありたいと思っています。

創意工夫と確かな技術思想を柱に、「豊かな住まいづくり」と「木材産業の発展、森林の循環」の一助を担うべく活動してまいります。ご清聴ありがとうございました。



山下 孝会員

みなさん、こんにちは。サーラフィナンシャルサービスの山下です  
本日はインニシエーションスピーチの機会をいただき誠にありがとうございます。

入会した1月に簡単に自己紹介させていただきましたが、今回は、先ずはどんな生い立ちで今の自分が在るのか？そして現在サーラフィナンシャルサービスで日々何をはぐくんでいるのか紹介したいと思います。  
参考資料として当社の会社案内とサーラグループの2023年統合報告書を用意させていただきましたのでご覧になりながら聞いていただけると幸いです。

先ず、生い立ちですが、  
1965年/昭和40年9月17日に東京都板橋区蓮根という町で生まれました。板橋区は埼玉県戸田市との境に流れる荒川の南側に位置する当時は東京北部の田舎でした。幼少時は近所に都電（豊橋で言えば市電、チンチン電車と言っていましたw）が走っており、徳丸が原という野原に囲まれた昭和の原風景が広がっていました。北九州小倉生まれの父と山梨勝沼生まれの母との間の長男として生まれましたが、2歳上の姉がおりますので第2子となります。  
現在の家族は東京に妻・大学4年生の娘を東京に残して単身赴任です。父親は93歳で施設に入っており、姉が板橋の実家を守っています。

小学校入学と同時に隣町に誕生した東洋一のマンモス団地「高島平団地」に引越しました。  
高島平という町は、1841年（天保12年）に砲術家/高島秋帆が高台から徳丸が原に向かって日本で初めて洋式砲術と洋式銃陣の公開演習を行ったことから、高島平と名付けられています。昨年大河ドラマ「どうする家康」においても高島秋帆の砲術訓練のシーンがありました。  
さて、高島平団地について皆様ご存じでしょうか？約1万戸の団地は最高14階建の当時としてはかなりの高層団地でした。  
昭和50年代には「飛び降り自殺の名所」として有名になりました。  
わたくしもその現場を数度ほど目撃したり、早朝に自宅前の階段踊り場で顔面蒼白で思い悩んでいる中学生見つけて1時間話しをして正気に戻した経験があります。  
団地の周囲には野原が広がっていましたので、通学時に虫取り、学校から帰るとクワガタ取り・風揚げや近くの溜め池でのザリガニ釣りなど自然にあふれる毎日を過ごしていました。  
小学2年に近所のお兄ちゃんに誘われて野球をはじめ、地下鉄で1本で行ける後楽園球場での巨人軍観戦をすることが多かったため、自然と巨人ファンになり、巨人軍不滅の9連覇時代を目の当たりにして、王・長嶋両選手に憧れて、気が付いたらリトルリーグに入っていました。小学校3年生からはほぼ野球漬けの毎日でした。  
中学校は地元の公立中学そしてその学校の軟式野球部に

入部して、埼玉県にある慶應義塾志木高校に入学し、高校野球を続け、大学では母校の野球部監督をしていました。慶應義塾大学経済学部を卒業後は三井信託銀行に昭和63年4月入社しました。

そうです。私が入社した三井信託は初代社長が日本のロータリークラブ創始者である米山梅吉氏であります。

三井信託の社是は「奉仕と開拓」でした。合併して現在は三井住友信託銀行となっていますが、行動規範（バリュー）の1つとして「奉仕と創意工夫による開拓の精神をもって社会に貢献してまいります」と社会への貢献・奉仕開拓の精神が今も引き継がれています。

米山社長は当時三井銀行の常務という立場を辞して、信託の時代が来ると時代を先読みして奉仕と開拓の精神、まさにロータリークラブの精神を三井信託に吹き込みました。わたくしが入社した昭和63年頃はまさにバブル真っ盛りの時代でしたが、比較的のんびりとした社風の中で、信じて託するという奉仕の精神を学び、多くの業務に携わりました。

小さな支店から始まり、建設省の外郭団体に出向したり、法人・個人両方の資産運用や融資業務にも取り組みました。人事部には2回、年金信託部門にもなぜか送り込まれました。勤続32年4か月で15部署への人事異動を経験し、約2年に1度は異動をしていた計算で慌ただしい生活でした。その中で一番大変だったのはバブル崩壊で融資が焦げ付き、不良債権の回収/処理業務を任されたことです、時間の関係からこの話は野球と同様に次の機会に話しますが、まさにドラマ「半沢直樹」の世界を味わった貴重な経験です。さまざまな信託銀行時代の経験が今のサーラでのファイナンス業務や保険業務にもたくさん活かしています。

ようやく今日の本題になります。  
わたくしの勤務するサーラフィナンシャルサービスはガス供給事業を中核事業とする東三河～遠州地域のインフラ整備を担っているサーラグループの金融子会社です。

プライム企業のサーラコーポレーションの連結子会社としてサーラグループ42社、約5,000人の従業員向けの団体保険や社内融資等の福利厚生サービスを始め、グループ各社の商材販売を通じた各種保険の提案や支払いの平準化を図る目的の各種クレジットやリースなどのファイナンス商品を提供しております。  
個人・法人問わず、お客様の将来にわたるさまざまなリスクを捉えて安全・安心を提供しております。

保険部門では、商品構成でいきますと、自動車保険と火災保険のウェイトが高く、傷害保険などの取扱いも含めると損害保険から得られる収益が非常に大きいのが実態です。ただし、近年は生命保険にも注力しております。最近何かと注目を浴びている一時払い外貨建て生命保険の取扱いや個人年金保険、介護保険を伸ばしております。インフレ・物価高の時代に突入し「金利のある世界」が約30年ぶりに戻ってきました。将来に備えた資産形成には一定のリスクを取っていく必要があります、我々はライフコンサ



ルタント的な役割を担い、お客様のさまざまなライフイベントに対応した金融商品を提供しております。

ファイナンス事業につきましては、リフォームクレジットやカークレジットなどの割賦商品、主に法人向けとなりますが、各種リースを展開しております。

法人営業は、法人向けの生損保・ファイナンスの両面からの金融サービスを通じ、サーラグループの総合金融会社として地域企業の成長・発展のための支援・サポートを最大のミッションとし、地域企業が抱えるさまざまな経営課題をサーラグループ各社と連携し、高い付加価値とともにソリューション提案をしています。

具体的な取組みとして、企業を取巻く事業リスクを「リスクマップ」により可視化し、分かり易くしたうえで、お客さま本位の最適な保険等の提案を実施しています。近年話題のサイバー攻撃による情報漏洩対策として、サイバーリスク保険をグループ会社にて取扱うセキュリティー商材とともに提案販売することで安心安全な経営環境を実現しています。

その他、交通安全啓蒙活動への取組みとして従業員を対象としたサーラの「交通安全セミナー」を無料開催し、安全運転への意識向上と交通事故のない社会を目指しています。

当社のような保険の代理店とファイナンス事業の両方を二刀流で行っている金融サービス会社はそう多くはありません。

是非とも皆様の中でお悩み事があれば遠慮なくサーラグループ、特に当社にご相談下さい。

以上のように様々な金融サービスを当社は展開しておりますが、サーラグループの従業員、そしてグループ各社のお客さまへの金融サービスの提供が中心となっていますので、近年、契約しているお客様数（管理顧客数）や契約件数の伸びが止まっております。

もっと外に目を向けてサーラグループとのお取引が少ないお客さまを当社独自に開拓していくことが急務となっております。

ロータリーの会員のみなさまにおいても引続き手厚いお取引の継続をお願いするとともに、まだお付き合いのないみなさまに置かれましては、是非当社をご利用いただけると幸いです。

また保険事業、ファイナンス事業のほかに「サーラカード」というクレジットカードを展開しております。約 14 万人の会員数を誇る地域ナンバーワンカードを目指しております。より利便性の高いカードとしての機能を追加していきます。

サーラカード未加入の方におかれましては、是非お財布に 1 枚サーラカードを入れてください。

最後にもう一枚、健康経営優良法人ブライツ 500 認定書がありますが、昨年度 2023 年度からは健康経営優良法人中小規模法人に認定された企業のうち上位 500 社のみに見える「ブライツ 500」に 2 年連続で認定されています。豊橋市では 3 社しか認定されていない貴重な栄誉あるブライツ 500 の認定です。

健康経営優良法人の認定に興味がありましたらぜひご相談ください。お手伝いできると思います。

社員の健康を守り、そしてお客さまの健康と万が一の際の安全安心を提供していきますので、よろしく願います。本日はご清聴ありがとうございました。

★ニコボックス

山本雅久・高井龍雄：今日はイニシエーションスピーチです。宮川嘉隆会員、山下会員スピーチ楽しみです。

岡本久永・加藤ゆり子・飯野益通：誕生日をお祝い頂き。

村松 光：ロータリーの友読みどころをまたまたまたさせて頂き。がんばってる！ドラゴンズ！

牧 岳大：地区出向者報告をさせて頂き。

宮川嘉隆・山下 孝：イニシエーションスピーチをさせて頂き。

神谷 馨：4/8 分区ゴルフ大会個人優勝しました。

杉田和俊：4/8 ゴールデンカップで優勝する事ができました。

山本雅久・高井龍雄・岡本久永・杉田和俊・鬼頭秀幸・加藤ゆり子・今川明彦・村松 光・石原聖季・

鈴木紳昭・酒井正樹・青木一臣：分区ゴルフで豊橋ゴールデン RC が団体で 3 位になりました。

山口幹夫：お迎えは真野会員、帰途は牧野会員とロータリークラブの友情に感謝しています。

石原聖季：神谷さんにご指南頂き度が入ったランニング用サングラスを購入し、とっても評判も良く、見た目は速く走れそうになりました。これで 100 km マラソン行きたいと思います。

鵜殿健次：ニコボックスの発表をさせて頂き。

鵜殿健次ニコボックス委員

★幹事報告

- ・台湾東部地震義捐金について、2024-25 年度地区研修協議会ご出席の御礼、蒲郡 RC 創立 70 周年記念式典の御礼状が届いて居ります。

★他クラブの例会変更

- 4 月 22 日(月) 豊橋南 RC 豊橋東 RC 合同例会
- 4 月 23 日(火) 宝 飯 RC 職場見学例会
- 4 月 24 日(水) 豊橋東 RC 豊橋南 RC との合同例会
- 4 月 26 日(金) 蒲 郡 RC 創立 70 周年記念事業打上(サ/無)